

倒れている人を見たら

AED(自動体外式除細動器)を用いた救命処置の要領

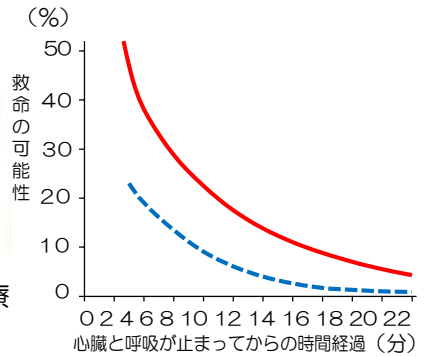


心停止の予防

早期認識と通報

一次救命処置

二次救命処置と
心拍再開後の集中治療



救命の連鎖

1. 不慮の事故を未然に防ぐ、病気の初期症状に気づき医療機関で治療
2. 心肺停止を疑い早期に認識し、応援を呼び119番通報とAEDの手配
3. 胸骨圧迫と人工呼吸およびAEDを使った心肺蘇生（一次救命処置）
4. 薬剤や医療機器を用いて行う心肺蘇生（二次救命処置）と、心拍再開後の集中治療

(出典：改訂6版「救急蘇生法の指針2020」市民用編)

◆ 生命の危機に陥った人を救命し、社会復帰に導く命のリレーを「あなた」がスタートさせてください。

1 周囲の安全を確認した後、両肩を叩きながら声をかける



わかりますか？

2 反応がなかったら大声で助けを求め119番通報とAED搬送を依頼する



誰か来てください！人が倒れています。あなたは119番通報してください。あなたはAEDを持ってきてください。

3 呼吸の確認



胸・お腹の動きを見て10秒以内で「普段どおりの息」をしているか確認。しゃくりあげるような途切れ途切れの呼吸は心停止とみなす。

4 呼吸がなかったらすぐに胸骨圧迫

胸骨圧迫は胸の真ん中



強く：成人は約5cmの深さ
小児は胸の厚さの約1/3の深さ
速く：1分間に100回～120回の速さ
絶え間なく：中断(10秒以内)を最小にする
胸が完全に元の位置に戻るまで圧迫解除する

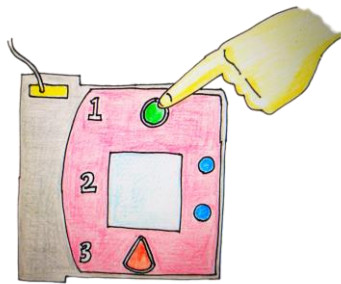
5 胸骨圧迫30回のあと気道確保し人工呼吸を2回おこなう



頭部後屈
あご先挙上

1回に約1秒かけて、胸の上がりが見える程度の量を2回吹き込みます(10秒以上かけない)。人工呼吸ができないか、ためられる場合は省略できます。感染防護具があれば使用しましょう。

6 AEDが到着したら まず電源を入れる



ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります



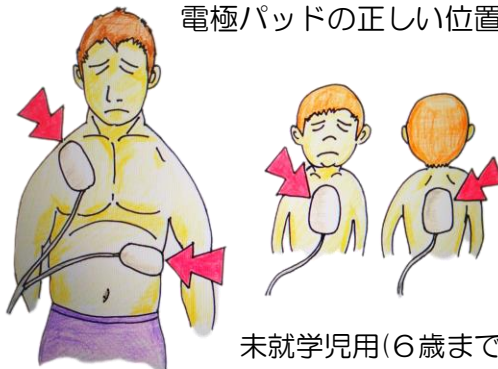
8 電気ショックの必要性をAEDが判断する



心電図解析中は誰も傷病者に触れてはいけません。

7 電極パッドを胸に貼る

電極パッドの正しい位置



小学生から大人

未就学児用(6歳まで)

- 電極パッドは、パッドの絵のと通りの位置にしっかりと貼ります。
- 体が濡れていたらタオルで拭き取ります。
- パッドを貼る位置に貼り薬等があれば、剥がして薬剤を拭き取る。
- ペースメーカーがあれば、離してパッドを貼ります。
- 未就学児用パッドは、体の前後にパッドを貼ります。

9 ショックボタンを押す



誰も傷病者に触れていないことを確認したら、点滅しているショックボタンを押します。

10 ショックが終わったら すぐに胸骨圧迫



胸骨圧迫の方法

年齢	圧迫	テンポ	回数
成人 (15歳超えが目安)	両手	100回/分 ~ 120回/分	圧迫30回 人工呼吸2回
小児 (1歳から15歳程度 中学生までが目安)	両手もしくは体 格に応じて片手		
乳児 (1歳未満)	2指 (中指・薬指)		

※ 以後は、AEDの音声メッセージに従います。心肺蘇生とAEDの手順は、救急隊に引き継ぐか、何らかの応答や目的のあるしぐさ（例えば、嫌がるなどの体動）が出現したり、普段とおりの息が出現するまで続けます。